

静岡文化芸術大「引佐耕作隊」

久留女木の棚田 稲刈りに汗 北 収穫米 大学生協などで販売へ 区

浜松市北区引佐町の久留女木の棚田で米作りに取り組む静岡文化芸術大(中区)の学生グループ「引佐耕作隊」が28、29の両日、同棚田で稲刈りを行った。収穫した米は来年1月に大学生協などで販売する。

学生グループは、同棚田の耕作放棄地を活用して2016年から活動している。ことしは、コロナ禍で減らしていた耕作面積を元に戻し、学生15人が田んぼ3枚計約480平方メートルでの栽培に挑戦した。5月から田起こしや田植え、草刈りなどの管理作業に励んできた。稲刈りには学生10人が参加し、黄金色に実った稲穂を鎌や機械で刈り取り、はざ掛けした。植田

勝也代表(20)は「耕作面積を増やして手探りだったが、無事に実ってくれて良かった」と話した。

学生は米の販売を通じて、土砂崩れの抑制や交流機会創出などの棚田の多面的機能を伝えていく。



稲刈りに励む学生―浜松市北区引佐町の久留女木の棚田